

☆中国

繊維景況

生産能力の急拡大で構造調整へ

中国紡織網によると、現在、中国のポリエステル生産能力が急拡大、市場に大きな影響が出ている。ここ数年、中国の繊維業界は、アジア低コスト国の発展から、輸出が伸び悩み、川下の繊維業界の稼働率低下が懸念されている。そのため、中国のポリエステル企業は、需要の落ち込みに対して、「生産能力の淘汰」と「業界再編」などの試練を迎えることが予想されている。

2013～2014年、中国国内では少なくとも年産400万トンのポリエステル新プラントが稼働している。桐昆は年産40万トンのプロジェクトについて2013年1月に試運転に成功、江蘇鷹翔化繊の年産30万トンのプロジェクトはこのほど国家発展改革委員会の批准を得た。これ以外にも10社程度が30～40万トンのポリエステル長繊維プラントを建設中または稼働開始の計画がある。

一方で、業界関係者の予測によると、2013年のポリエステル製品の需要は10%前後伸びるとみられ、ポリエステル長繊維の需要は12～13%の成長、ポリエステル短繊維は6～7%、ペットボトル用チップは10～12%、フィルムは8～10%の成長と見通しである。

しかし、今後は、各種のバイオ繊維などの生産能力拡大に伴い、川下の原料選択の余地が広がり、ポリエステル製品の需要はこれまで通り拡大する見通しにはなっていない。

そのため、業界関係者は、中国のポリエステル業界にとって、老朽設備の淘汰に力を入れる必要があると指摘する。2003～2006年、小規模なポリエステル工場の淘汰により約17%のポリエステル生産能力の増加が相殺され供給過剰問題はある程度緩和された。第11次五か年計画期間（2006-10年）の淘汰生産能力は合計445万トンであり、234億元の不良資産は淘汰、350億元の資産は買収・再編によって活性化された。

2013年の老朽設備淘汰任務要求では、化繊業界の目標は2012年の年産22万トンから31.4万トンに増加しているが、中国の化繊生産能力は3,000万トンを超えており、順調に任務を完成できるとみられている。

☆フランス

不織布

Freudenberg、спанレースを増設へ

ヨーロッパおよびアジアでEvolonの需要が拡大していることに対応し、独Freudenberg Nonwovensは、仏子会社Freudenberg Evolon s. a. r. l.のColmar工場でEvolonを増設する。

約 500 万ユーロを投じて、年産 3,000 トン/年の新ラインを設置。既に着工済みで、2013 年 10 月末に完成の予定である。セパレートされた複数の水流交絡により、様々な素材を使用し、幅広い製品を製造する可能である。

Evolon はスパンレース不織布で、ハイテク・ワイパー、パッケージ、自動車、印刷媒体、コーティング基布、寝具、衣料などで使用される。

☆ドイツ

技 術

Kelheim Fib.、難燃技術を Avilon より取得

レーヨン S メーカーの Kelheim Fibres GmbH が、破産したフィンランドのレーヨン S メーカー Avilon より、難燃レーヨン S の製造技術を取得することで合意に達した。

1990 年代後半に Avilon (当時は Sateri) は、米国のベッドマットの難燃規制に対応するため、難燃レーヨン S をいち早く開発した。

Kelheim Fibres によると、米国の難燃レーヨン S 市場は中国の供給に依存しているが、今回の合意により、同社がその一角に食い込むことが期待されるとしている。

以上